



野村株式コンファレンス
「業績回復から再成長に向けて」

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

2009年11月26日

東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引
き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 事業概要
- 計測器事業を中心とした中長期の目標と取り組み
- 計測器の事業機会
- 財務
- Appendix

お客様と提供ソリューション



最終ユーザー (安全・安心で快適な社会)



オリジナル & ハイレベルな技術の活用により、
計測・品質保証・情報通信ソリューションを提供し、
安全・安心で快適な社会の実現に貢献

食品・薬化品の品質・
計量検査市場



X線異物検出機

ICT(情報通信技術)産業向け
開発・製造・保守市場

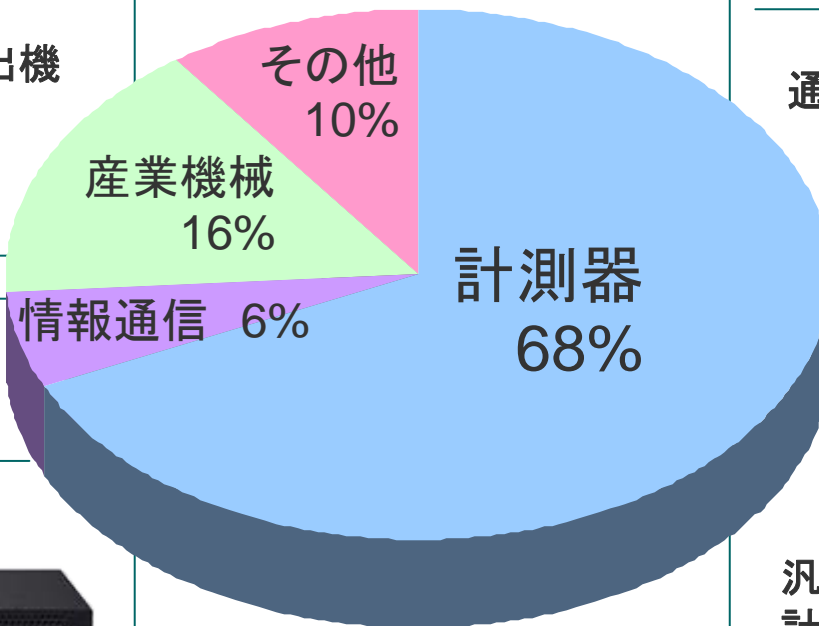
通信インフラ市場向け計測器



携帯端末市場向け計測器



汎用(電子デバイスなど)向け
計測器



2009年3月期
連結売上高
(839億円)

IPネットワーク
システム市場

(公共情報システム)

帯域制御装置



光ギガアクセス伝送装置



2010年3月期 通期の見通し(連結)



(単位：億円)

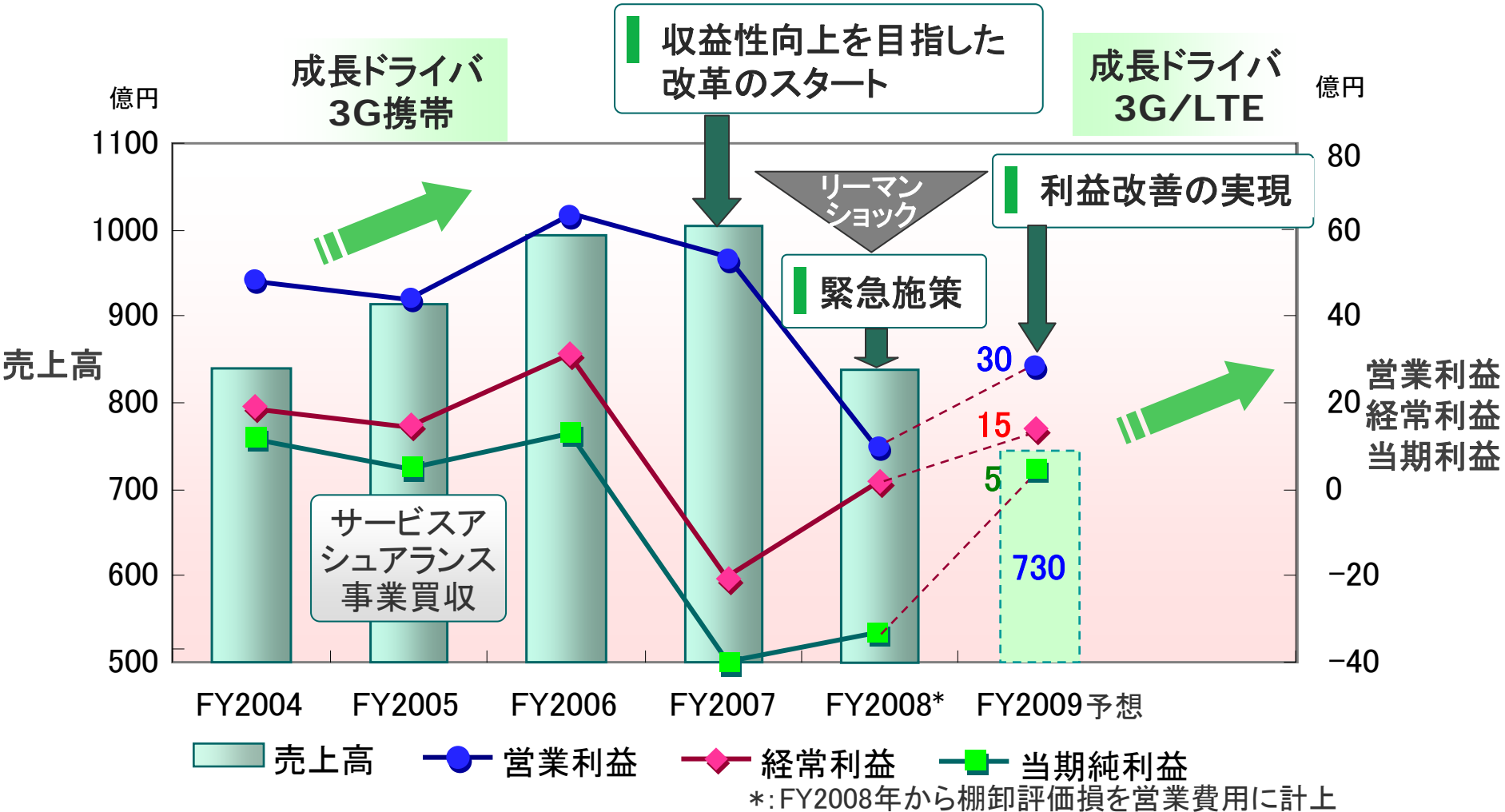
		2009/3期	2010/3期		
		通期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		839	730	△ 109	△ 13%
営業利益		9	30	21	231%
経常利益		2	15	13	779%
当期純利益		△ 35	5	40	-
計測器	売上高	574	黒字化 485	△ 89	△ 16%
	営業利益	△ 8	13	21	-
情報通信	売上高	52	50	△ 2	△ 4%
	営業利益	1	0	△ 1	-
産業機械	売上高	130	120	△ 10	△ 8%
	営業利益	6	4	△ 2	△ 33%
その他	売上高	83	75	△ 8	△ 10%
	営業利益	10	13	3	26%

安定的

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート: 1米ドル=90円

通期業績の推移(連結)



注) 3G: 第3世代携帯電話、LTE: Long Term Evolution(次世代携帯電話通信方式)

計測器事業を中心とした 中長期の目標と取り組み

中長期の目標と取り組み



目標

営業利益率：10%

ROE：10%

取り組み：財務体質の安定

中国他3G関連計測 } 成長
LTE関連計測 } ビジネス → 中長期な
安定ビジネス

汎用計測・検査ビジネスの安定成長
サービスアシュアランスビジネスの拡大

新需要の取り込みとソリューション提供

収益改善

安定ビジネスの獲得・拡大
利益感応度の維持・向上

運転資本の効率化

キャッシュフローの創出

ベースビジネスとピーク需要のあるビジネスによる成長

3G、LTEおよび通信インフラ分野でリーディングポジション獲得
安定した利益を確保するベースビジネス拡大

通信

3G/3.5G
LTE
インフラ etc.

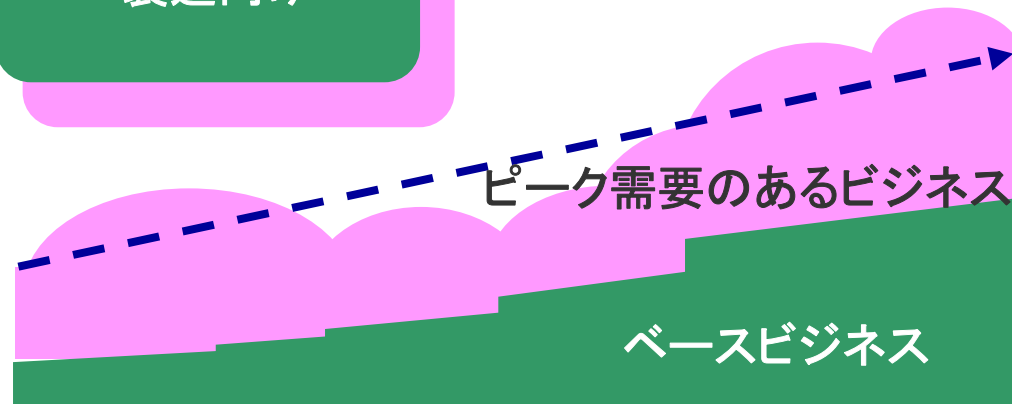
R&D向け
製造向け

インフラ保守向け
無線インフラ用ハンドヘルド
ネットワークQoS モニタリング

エレクトロニクス

デバイス/モジュール
カーエレクトロニクス
EMC
など

R&D向け
製造向け



計測器の事業機会

【通信市場の状況】

通信事業者、通信機器メーカーの設備投資抑制
携帯からブロードバンド・ワイヤレス・アクセスへ

【計測市場の状況】

既存の計測需要は厳しい状況が継続(回復は2011年以降)

新規計測需要の立ち上がり

LTEのチップセット、携帯端末の開発

中国3Gの通信インフラ建設・サービス開始

世界的な3G携帯の普及、スマートフォンの生産増加

モバイル、クラウドコンピューティングの普及

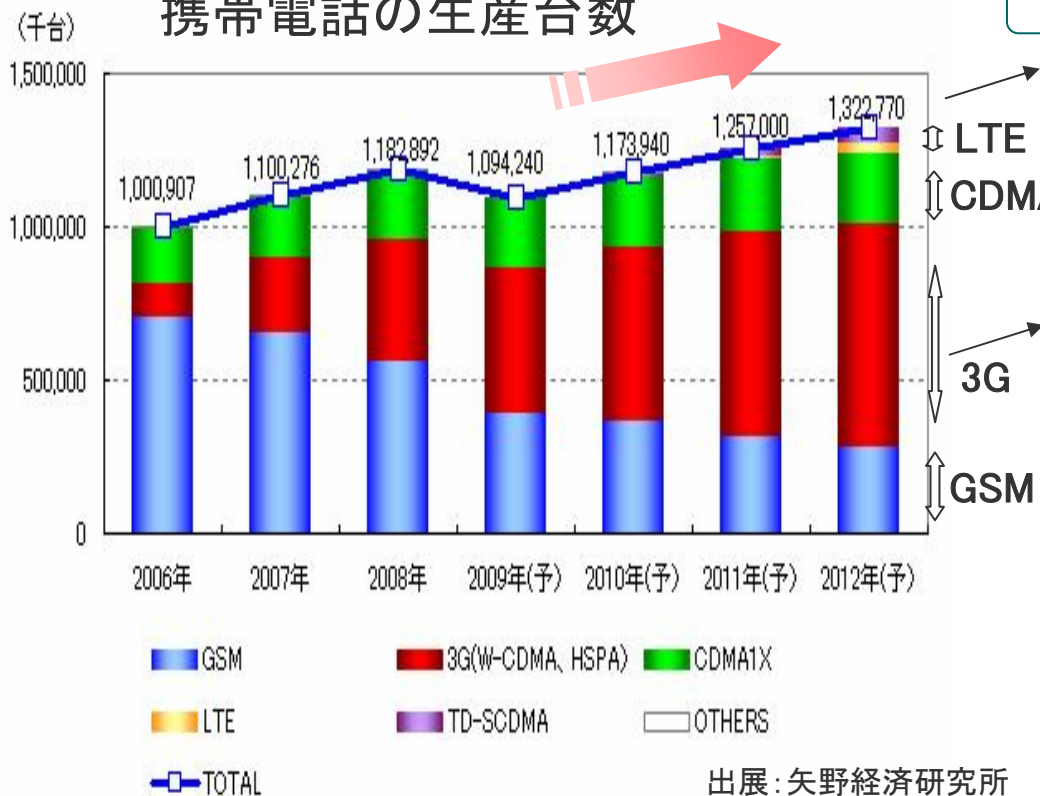
データ通信量の飛躍的増加に伴う基幹通信網の拡充

マーケットトレンド(2) - 端末

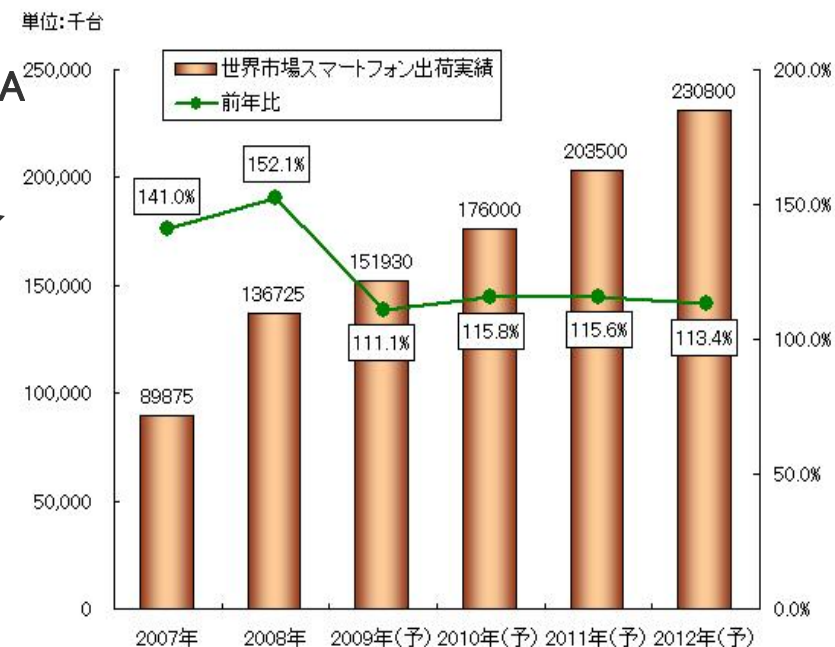
中国を含む世界的な3G携帯の広がり
スマートフォン、ネットPC、車載通信などの新しい情報端末の成長

携帯電話加入者
約46億人(2009年)

携帯電話の生産台数

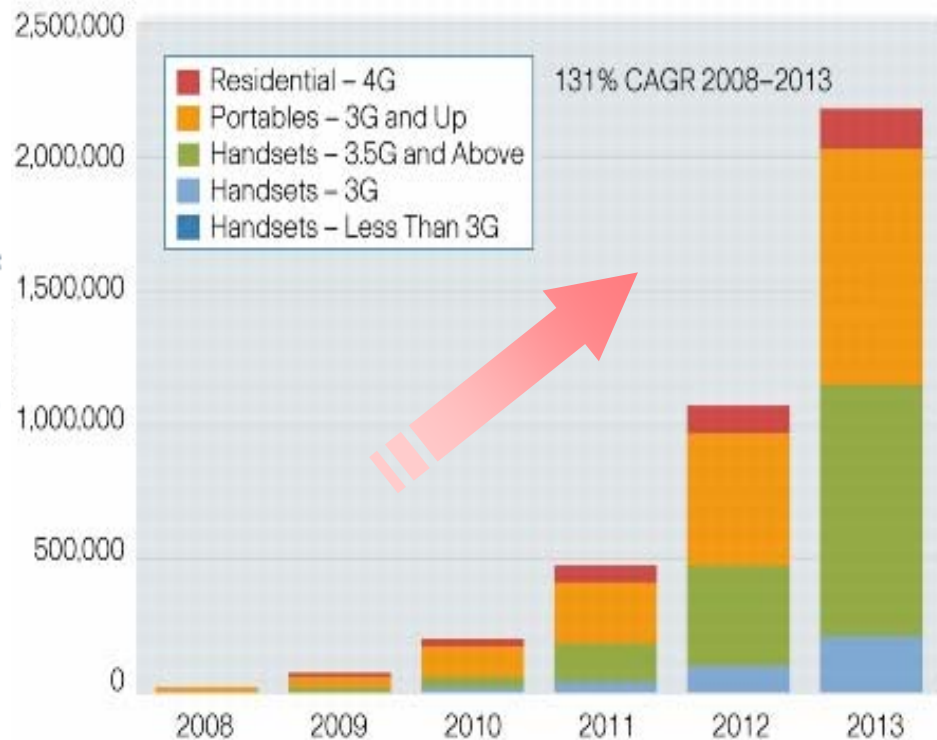
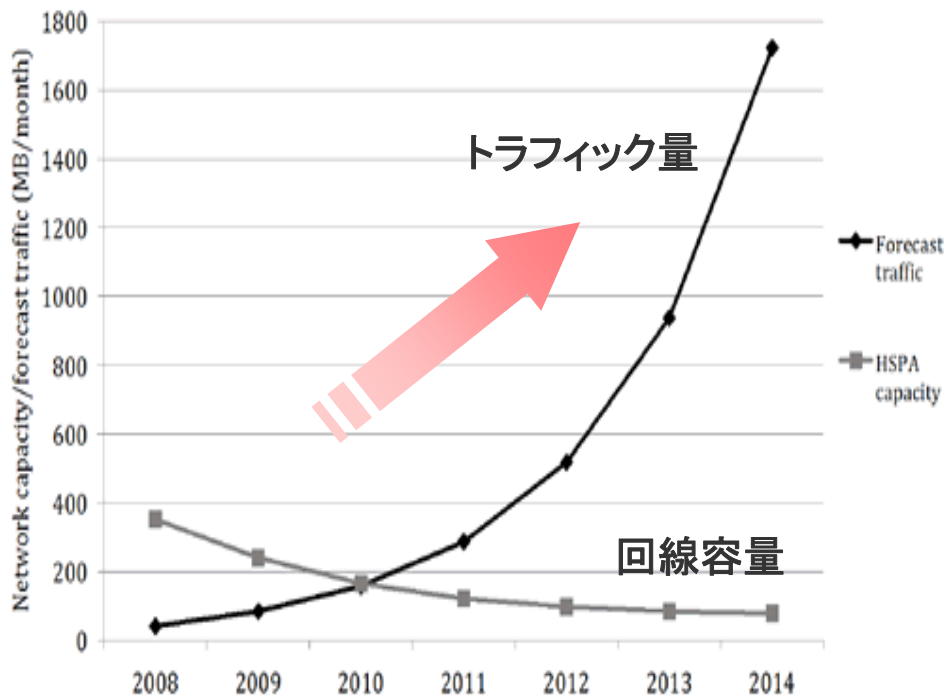


スマートフォン出荷台数

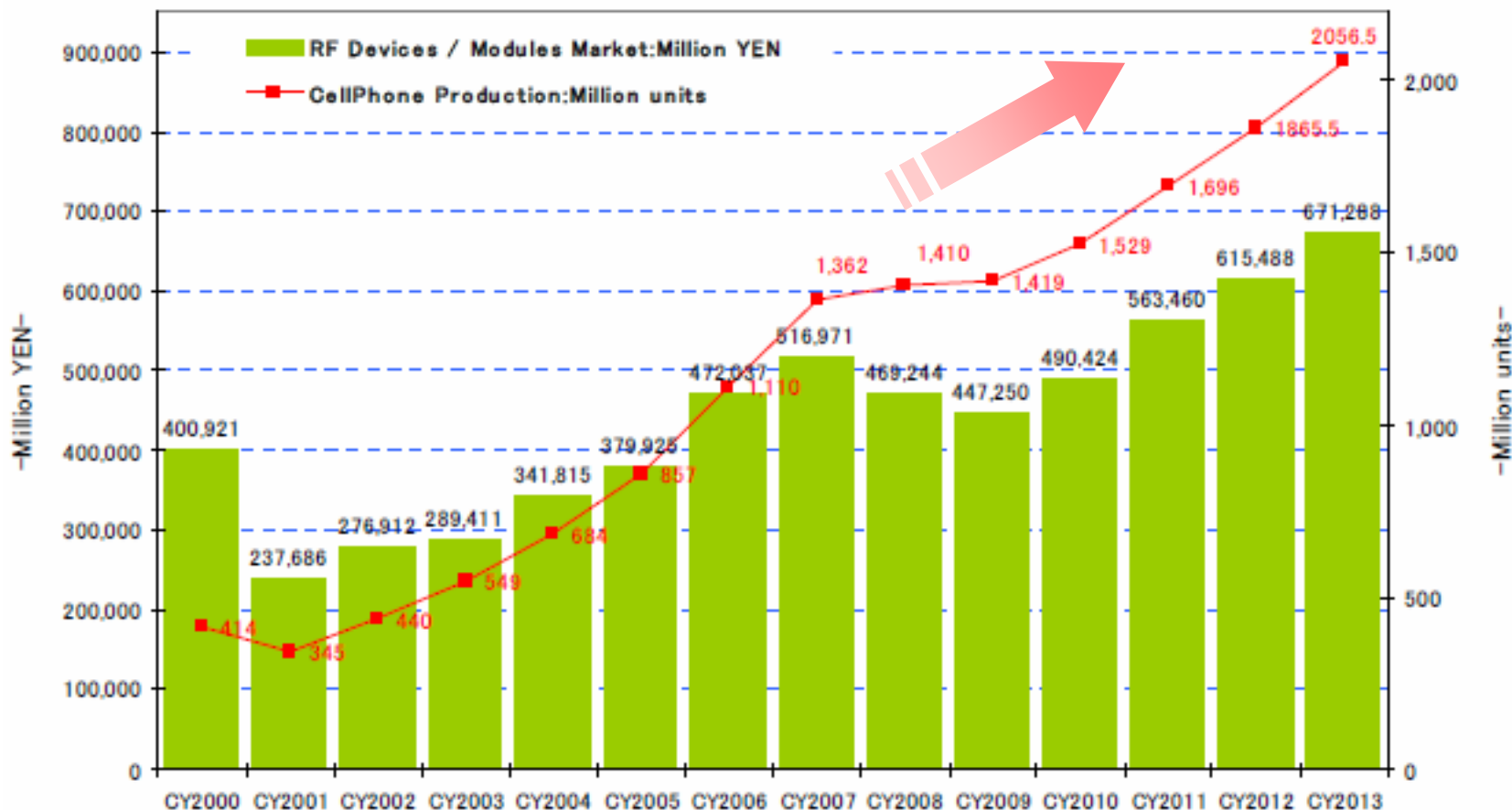


トラフィックの増加に伴うモバイル用ネットワーク容量の拡充の必要性

HSPA network capacity per device and forecast traffic per device for a 3G operator, for a modelled scenario, 2008-2014



RFデバイス/モジュールの市場成長



出展:ナビアン

拡大するモバイル関連市場を全方位で捕らえる

R&D～製造～建設保守～品質検査

通信事業者、通信機器メーカー、部品メーカー、電設業者

2G、3G、3.5G、LTE、WiMAX、超高速光・IP網

携帯、スマートフォン、ネットPC etc.

全地域

特に

- 1) LTE
- 2) 中国3G
- 3) 3G、LTE関連の無線モジュールおよび通信機器

注) WiMAX: 中長距離(km)をカバーし高速通信を可能とする無線通信規格の一つ。

モバイル関連の計測ビジネス機会

計測器今期売上計画

485億円

2010年
次世代携帯(LTE)商用化

2001年
第3世代携帯商用化

第3世代携帯の開発:
世界シェア 60 - 70%

LTEの製造
次世代携帯(LTE)の
開発

第3世代携帯の製造

通信インフラの建設・保守 : 世界シェア 70 - 80%

デバイス・チップの開発・製造 / 基地局の開発・製造

2000

2005

2010

2015

モバイル関連のビジネス機会への取り組み



	NGNおよびインフラ 関連分野	携帯端末分野	汎用分野
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> •バックボーンの超高速化 •有線/無線アクセスネットワークの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> •中国3Gの新規需要 •LTEの新規需要 •3G/3.5Gの拡充 •スマートフォン 	<ul style="list-style-type: none"> •無線基地局の製造 •RF部品/モジュールの開発・製造 •EMC市場など
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> •40Gbit/s、100Gbit/s用ネットワーク機器向け計測器 •基地局建設・保守用ハンドヘルド計測器 	<ul style="list-style-type: none"> •TD-SCDMA開発用計測器 •LTEチップセット/端末開発用計測器 •3G/3.5G向け計測器 	<ul style="list-style-type: none"> •信号発生器、信号解析器 •各通信方式へのオプション対応

注) TD-SCDMA: 3G携帯電話通信方式のうち中国のみが採用している方式

- 1) LTE
- 2) 中国3G
- 3) 汎用

LTE:市場動向と計測器市場規模



LTE市場

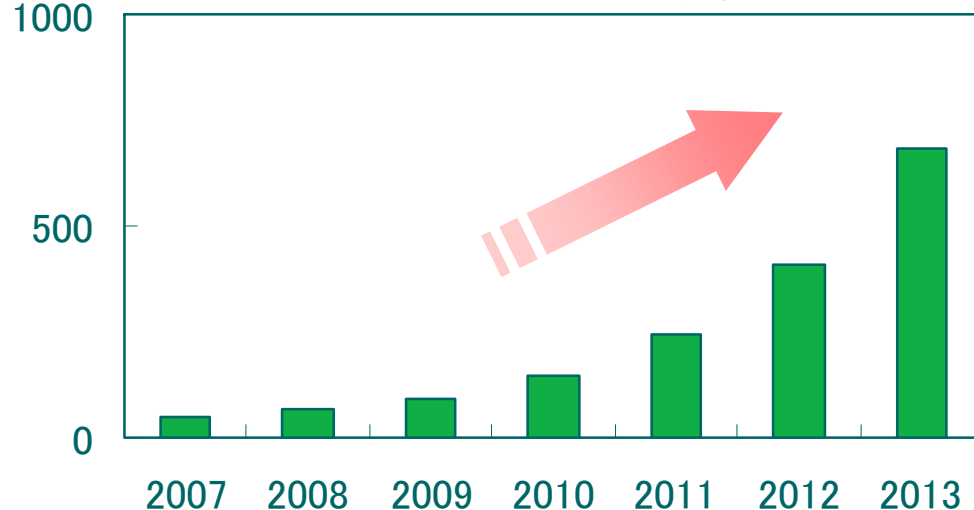
- ・LTEの導入予定: 23カ国/45通信事業者
(2010年導入予定: 16通信事業者 NTT DoCoMo、Verizon、Telia Soneraなど)
- ・参入ベンダー: 端末、通信機器、PC、…(新プレイヤーも参入)
- ・対象品(デバイス): 携帯端末、PC、ネットブック、…
- ・開発状況: NTT DoCoMoと国内3端末ベンダーがチップセットの試作品を開発

LTE加入者(2015年度)

世界: 2億2,500万人
日本: 5,600万人

推定: シード・プランニング

売上高
[\$ Million] LTE端末用計測器の市場規模(世界)



出展: FROST & SULLIVAN

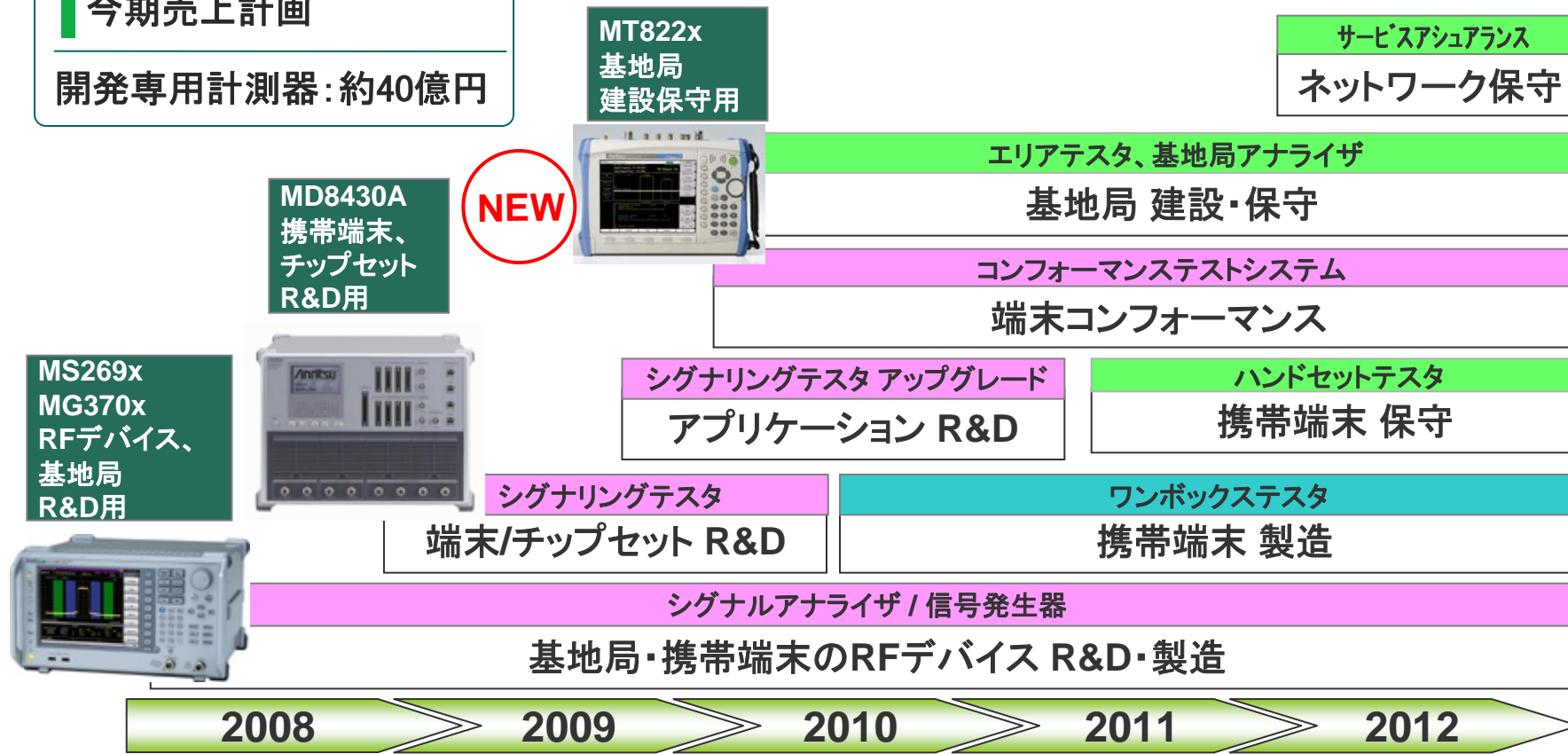
LTE:新製品投入による売上拡大



3G携帯電話関連の計測器ビジネスで構築した重要顧客との密接な関係を維持。
3G携帯電話関連の計測をベースとした広範なソリューションを計画。

今期売上計画

開発専用計測器:約40億円



中国3G:市場動向



ネットワーク機器ベンダー

Datang, Huawei, ZTE,
Alcatel Shanghai Bell, Ericsson,
Nokia Siemens Network

2009年 基地局建設
通信事業者3社は
各60,000基地局の
建設を計画

携帯端末加入者(2G)

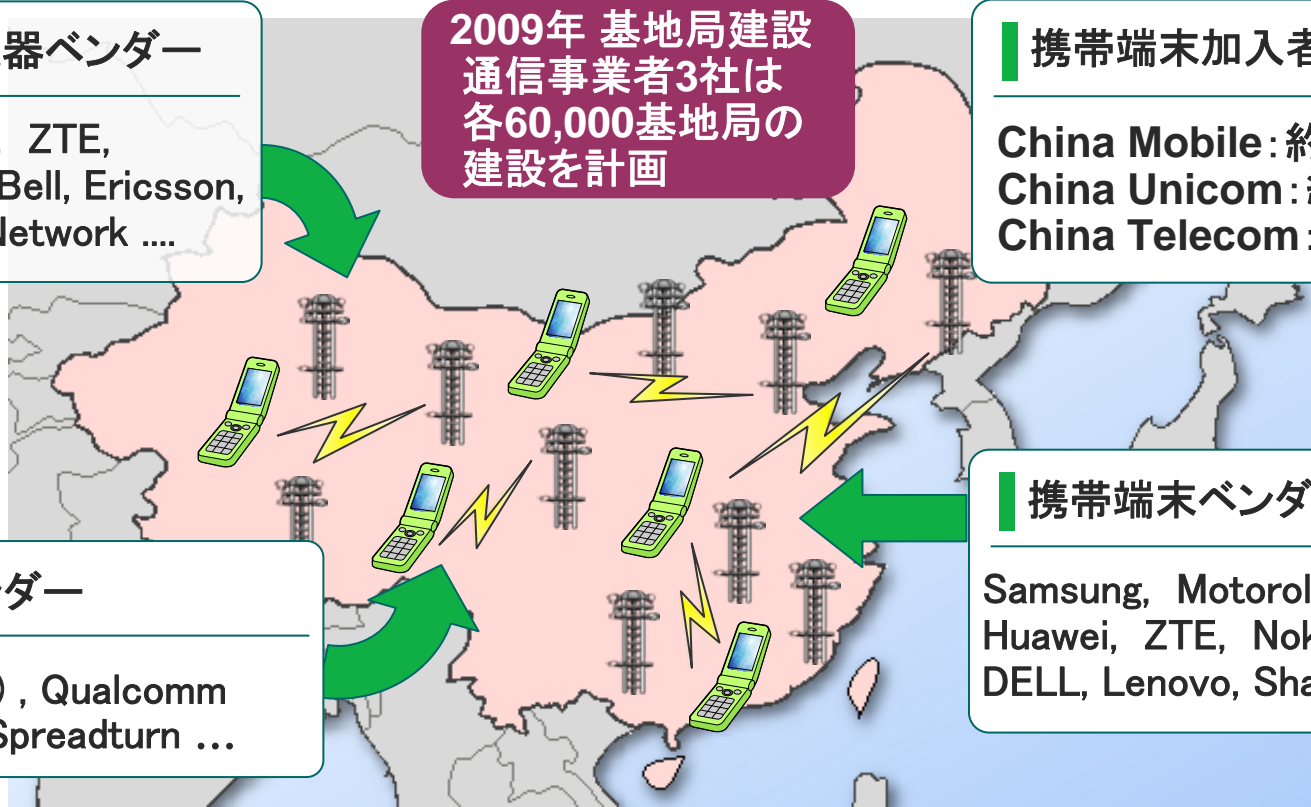
China Mobile: 約5億人
China Unicom: 約1.5億人
China Telecom: 約0.5億人

チップセットベンダー

T3G(ST-Ericsson), Qualcomm
MTK/Leadcore, Spreadtrum ...

携帯端末ベンダー

Samsung, Motorola, HTC,
Huawei, ZTE, Nokia, LG,
DELL, Lenovo, Sharp, Apple,



2009

2010

2011

20xx年

通信ネットワークインフラ整備
200都市以上で商用化

加入者拡大
端末製造拡大

3G

TD-LTE

上海万博 実証実験

TD LTE 普及

Discover What's Possible™

注) TD-LTE: 次世代携帯電話の通信規格(LTE)の一つで、時間分割で送受信する方式。

Anritsu

中国 3G: 既存製品および新製品投入による売上拡大

計測器: 3方式に対応 (TD-SCDMA / WCDMA / CDMA2000)

今期売上計画

約20億円

NEW



MT8820B

TD-SCDMA HSPA対応

ワンボックステスト
携帯端末 製造

NEW



MD8470A

TD-SCDMA HSPA対応

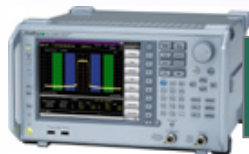
シグナリングテスト

TD-SCDMA 携帯端末 / チップセット R&D



MS272x
S331
ML8740B

エリアテスト、基地局アナライザ、スペクトラムアナライザ
基地局 建設・保守



MS269x
MG370x

シグナルアナライザ / 信号発生器
基地局 製造

2008

2009

2010

2011

2012

注) HSPA: High Speed Packet Access 第3世代携帯電話の通信速度を高速化した規格

当社の強み

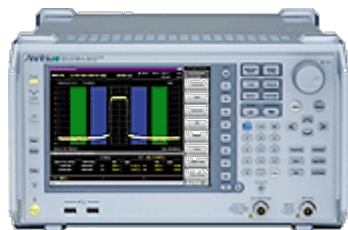
3G端末の開発用計測器
基地局向け建設・保守用計測器
ベースとなる無線信号の解析、測定技術
密着した通信市場の顧客との関係

今期実施した主な取り組み

機能拡充:ベクトル変調解析ソフト追加
TD-LTE対応ソフト追加
大手基地局ベンダーへのアプローチ

ターゲット市場と主な提供ソリューション

通信市場
製造分野
EMC市場



シグナルアナライザ

成果と今後の取り組み

成果:大手基地局ベンダーとの取引拡大
今後:サポート強化と機能強化により
ビジネス拡大
ラインナップ拡充と対象分野への
販促活動によるビジネス拡大

財務

中期財務戦略シナリオ

利益ある成長モデル
の構築

利益感応度の
改善・向上

効率的な運転資本
の運用

- ①中国3G関連計測ビジネス
- ②LTE関連計測ビジネス
- ③汎用計測ビジネスの安定成長
- ④SA*ビジネスの拡大

- ①固定費のダウンサイジング
- ②ローコスト設計・製造

- ①運転資金の最小化
- ②デモ資産の圧縮

SA*: サービス・アシュアランス

営業利益の拡大

営業CFの増加

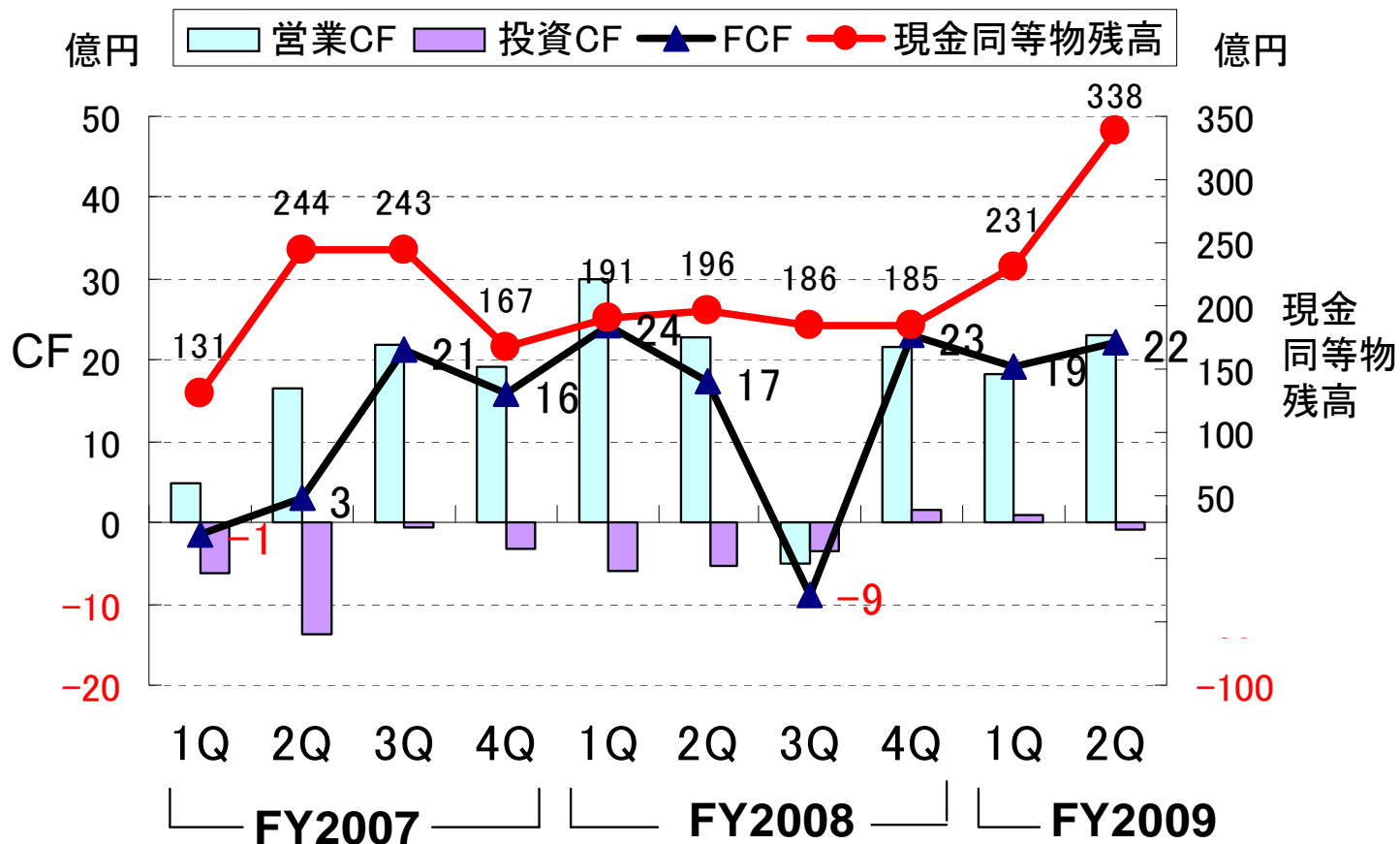
自己資本の回復(充実)

財務体質の安定化

キャッシュフロー概要(連結)



- ・継続的なキャッシュ創出
- ・手元流動性の確保



【方針】

連結純資産配当率(DOE)を上昇させることを基本に、事業環境や今期以降の業績見通しなど、諸般の事情を総合的に考慮して剰余金の配当を行う方針です。

【今期配当】

財務体質の安定を優先させるため、無配を予定しています。

Appendix

会社概要



社名	アンリツ株式会社
本社所在地	神奈川県厚木市恩名5-1-1
創業	1895年(明治28年)(石杉社)
資本金	14,049百万円(H21.3.31現在)
売上高	83,940百万円(H21年3月期:連結)
従業員数	3,697名(H21.3.31現在:連結)
証券コード	東証第1部 6754

1900

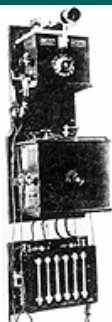
1950

1975

2000



無線電信送信機



世界初の無線電話機



船舶用無線電信装置



公衆電話



光計測器



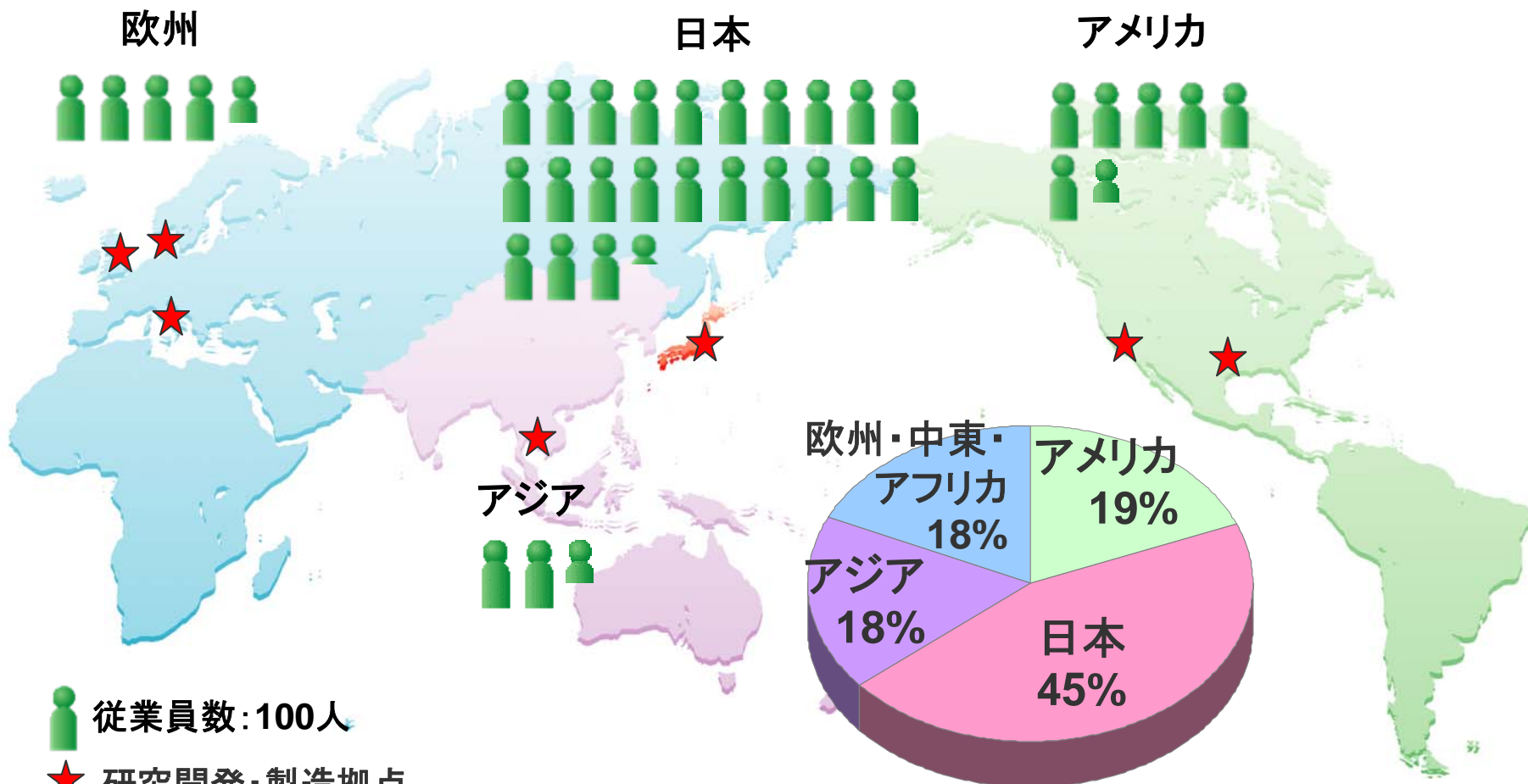
サービス・アシュアランス



携帯電話計測器

情報通信の進歩とともに、時代の求める最先端ソリューションで発展

グローバルな事業展開



2009年3月期連結売上高の地域別比率

当社の事業セグメントの呼称と事業内容

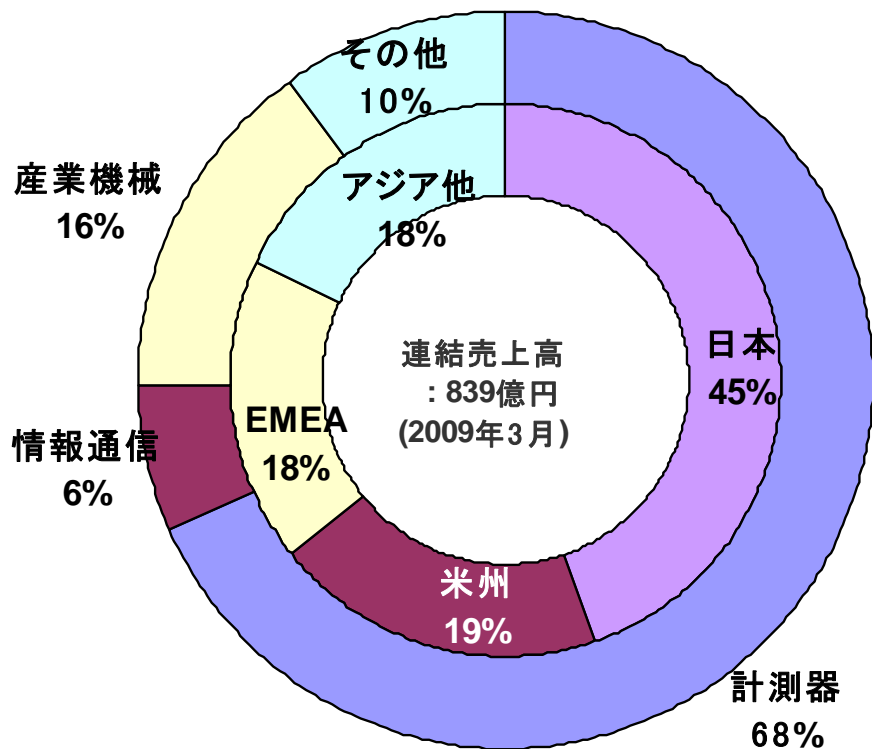


セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部門の主な所在国
計測器	NGNおよびインフラ関連分野	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、有線ネットワークおよび無線インフラ敷設・保守用テスト、サービスアシュアランスなど	日本・米国・デンマーク・イタリア
	携帯端末分野	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト	日本・英国・米国
	汎用分野	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本・英国
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など	日本、タイ
その他		精密計測、光デバイスなど	日本

連結売上高

売上高: 839億円

営業利益: 9億円

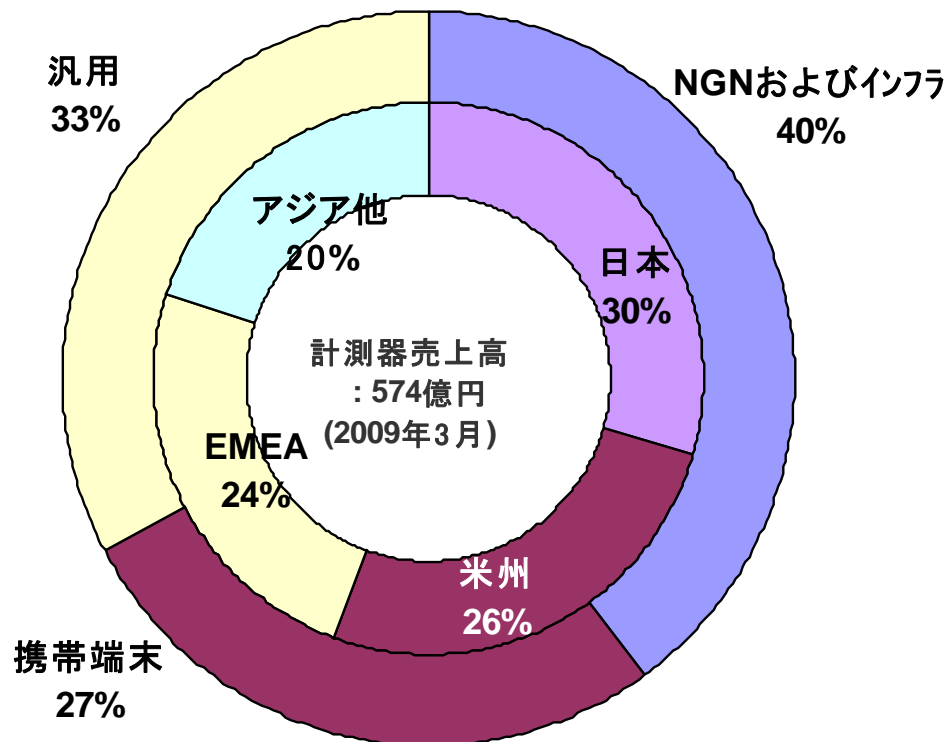


内側 : 地域別売上高
外側 : セグメント別

計測器事業

売上高: 574億円

営業損益: △8億円



内側 : 計測器事業の地域別売上高
外側 : 計測器事業のサブセグメント売上高

計測器 – NGNおよび通信インフラ市場



計測器事業 売上比率 約40%	R&D 用途	建設・保守 用途
フォーカス エリア	<ul style="list-style-type: none"> •40Gb/s, 100Gb/s 光伝送 •光変調 •NGMN(SAE) 	<ul style="list-style-type: none"> •無線基地局 •光ファイバ敷設 •サービス品質モニタリング
顧客	<ul style="list-style-type: none"> •通信事業者 •通信機器ベンダー 	<ul style="list-style-type: none"> •通信事業者 •通信建設業者
ポジション	<ul style="list-style-type: none"> •No.2 or 3 シェア 15% (OTN市場) 	<ul style="list-style-type: none"> •無線基地局用ハンドヘルド計測器 No.1 シェア 70 - 80% •FTTH/デジタル/IP シェア 15% •サービスアシュアランス No.3

NGMN : Next Generation Mobile Networks

SAE : System Architecture Evolution

計測器 – 携帯端末市場



計測器事業 売上比率 約30%	R&D 用途	製造 用途	建設・保守 用途
フォーカス エリア	<ul style="list-style-type: none"> •3G/3.5G アプリケーション •LTE •中国 TD-SCDMA 	<ul style="list-style-type: none"> •3G/3.5G携帯端末 •中国TD-SCDMA用携帯端末 	<ul style="list-style-type: none"> •携帯端末 修理
顧客	<ul style="list-style-type: none"> •携帯端末ベンダー •チップセットベンダー 	<ul style="list-style-type: none"> •携帯端末ベンダー (主にアジア) 	<ul style="list-style-type: none"> •通信事業者 •携帯端末ベンダー
ポジション	3G携帯 R&D : No.1 シェア 60-70%	3G携帯端末 製造 シェア 20%	日本 No. 1 シェア 90 - 95%

<p>計測器事業 売上比率 約30%</p>	<p>R&D 用途</p>	<p>製造 用途</p>
<p>フォーカス エリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> •RFデバイス(LTE / Bluetooth / Wi-MAX / カーエレクトロニクス用等) •デジタル放送、等 	
<p>顧客</p>	<ul style="list-style-type: none"> •電子デバイス / コンポーネントベンダー •通信機器ベンダー •携帯端末ベンダー •カーエレクトロニクスベンダー 等 	
<p>ポジション</p>	<p>No.3 シェア 7%</p>	

協業によるシステムソリューション事業の推進

- 対象市場 : 官公庁、社会インフラ、民間ネットワークなど
市場動向 : セキュリティ、防災、社会インフラの整備需要の増加
提供ソリューション : 映像監視システム、帯域制御装置、
減災コミュニケーションシステムなど

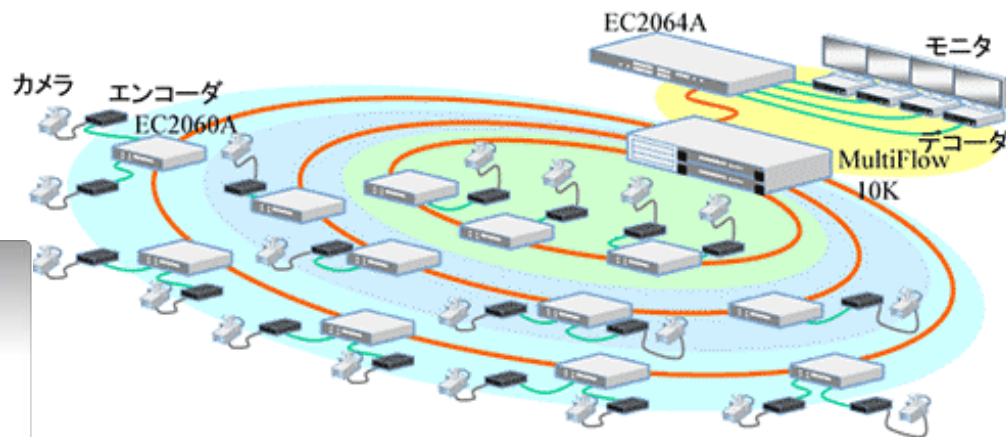
レイヤスイッチを活用した複数映像監視ネットワーク

データ配信用 IPv6対応の帯域制御装置

バースト状態で入ってきたパケットを高精度で調整し
理想的な出力タイミングで送出



- ・ストリーミング
- ・リアルタイムエンコーダー
- ・テレビ会議システム



食品検査市場における競争力強化

対象市場: 食品、薬品、化粧品など

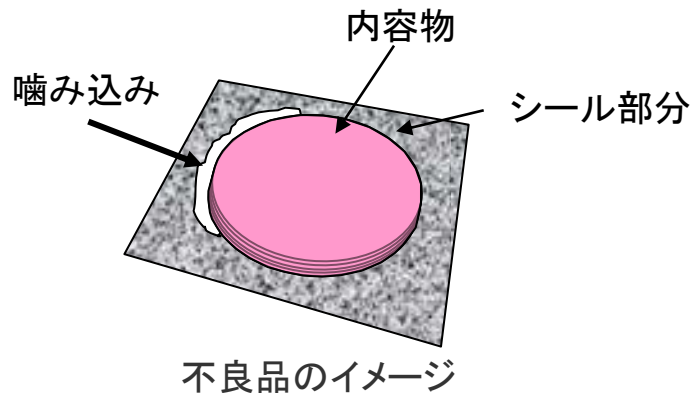
市場動向: 食品市場は投資抑制は一部あるものの、食の安全・安心意識による
安定的な検査需要

薬品市場は設備投資が拡大傾向

提供ソリューション: X線異物検出機、重量選別機、自動電子計量機など

【X線異物検出機の新しいアプリケーション】

~噛み込み検査機能 スライスハムの例~



Anritsu

Discover What's Possible™